

教 師 ノ ー ト

週課	第一年 第五課 第二週
単元	ペンテコステ
テーマ	異言のしるしを伴う聖霊のバプテスマ
タイトル	ペンテコステの日の出来事
テキスト	使徒 1:4-5、1:8、1:12-14、2:1-47
参照箇所	使徒 4:31、8:14-24、10:44-48、19:6
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ 11:13 or ヨエル 2:28

AG 日曜学校教案参照箇所
小学下級2巻-主題4-13課、小学上級3巻-主題1-2課、中学1巻-主題2-4課、中学3巻-主題2-6課

□導入

あなたの誕生日はいつですか？教会の誕生日は、ペンテコステの日です。ペンテコステとはユダヤの収穫をお祝いするお祭りの一つですが、神様はこの日に聖霊を弟子たちにお与えになりました。聖霊に満たされたペテロたちはイエス様を力強く証し、3000人が救われて最初の教会が誕生したのです(魂の収穫の始まりですね！)。ペンテコステの日に何が起こったのか見てみましょう。

□ポイント1 イエス様は弟子たちに聖霊のバプテスマを約束されました

イエス様は天に戻られる前に弟子たちを集めて約束してくださいました。「あなたがたはエルサレムを離れないで天におられる神様の約束を待ちなさい。あなたがたはもう間もなく聖霊によってバプテスマを受けます。」バプテスマとは「浸される」という意味です。ですから聖霊のバプテスマを受けるとは聖霊によって浸される、つまり聖霊によっていっぱいになる、満たされるということなのです。さらにイエス様は言われました「聖霊に満たされるとき、あなたがたは大きな神様の力を受けます。それによって、エルサレムからユダヤ、サマリアの全地方、そして地の果てまで私のことを証しする証人になります。」聖霊に満たされると、その人は世界中にイエス様のことを証していく力、イエス様のことを伝えたいという熱い思い、熱心が与えられるのです。実は、弟子たちはイエス様がいなくなることをとても悲しみ、不安でいっぱいでした。イエス様が十字架にかかられた時もみんな逃げてしまいました。イエス様がお墓に葬られたあとはみんなで家に閉じこもってかぎを掛けて小さくなっていたのです。「これからどうしたらいいんだろう。どうやってイエス様のことを伝えていけばいいんだろう」そんな弟子たちにイエス様は素晴らしい聖霊の希望の約束を与えてくださったのです。

□ポイント2 弟子たちは約束を信じて心を合わせて熱心に祈り求めました

イエス様が天に昇られると、弟子たちはさっそくイエス様に命じられたとおりのエルサレムに帰りました。弟子たちにとってはイエス様を迫害して十字架に付けた人々が沢山いるエルサレムに戻るということは勇気が必要だったことでしょう。でも弟子たちはイエス様が命じられたことに従ってエルサレムにとどまったのです。そして泊まっていた家の屋上に上がってみんなで心を合わせてお祈りを始めました。そこにはイエス様の弟子たちをはじめ、イエス様に従ってきた女の人たちやイエス様のお母さんのマリヤ、またイエス様の兄弟たちもいました。みんなイエス様を信じて従ってきた人たちです。集まった人たちはただひたすらイエス様の約束を信じて心を合わせて祈り続けました。聖霊の約束を求め続けたのです。だれも、聖霊がどのようなものかわかりません。聖霊に満たされるということがどのようなことなのかもわかりません。また、それがいつどのような形で与えられるのかもわかりませんでした。でも彼らはただ約束を握って、信じて、心を合わせて祈り求め続けたのです。

□ポイント3 ペンテコステの日に約束通り弟子たちは聖霊に満たされ変えられました

そして10日が過ぎました。五旬節(ごじゅんせつ・ペンテコステ)というユダヤ人の祭りの日になりました。穀物の収穫祭の日です。弟子たちは皆同じ所に集まっていた。すると、突然天から激しい風が吹いてくるような響きが起こりました。そしてそれは彼らがいる家全体に響き渡りました。そして、天から炎のような分かれた舌のようなものが現われて、そこにいたすべての人の上にとどまったのです。するとどうでしょう、そこにいた人がみんな聖霊に満たされて聖霊の導かれるままに自分の知らない外国の言葉(異言)で突然話し出したのです。

驚いたのは物音を聞いて集まって来た人たちです。そこには多くの外国から集まって来た人々がいました。「これはいったいどうしたのか!？」自分の国の言葉で神様のことを話している彼らの姿にびっくりしてしまいました。ある人はお酒に酔っているのではないかといってあざける人もいました。

そこで、ペテロがほかの11人の弟子たちと一緒に立ちあがって言いました。「みなさん、聞いてください。今は朝の9時ですから私たちはお酒に酔っているではありません。これは預言者ヨエルがかつて預言したことが実際に起こったのです。終わりの日に神様はイエス様を信じるすべての人にご自身の霊である聖霊を与えてくださるのです。あなた方が十字架にかけたイエス様こそ私たちを罪から救う救い主です！」ペテロは集まって来た人々にイエス様を大胆に証しました。イエス様が十字架にかかる時に怖くなって三回もイエス様を否定したペテロとはまるで人が変わってしまったようです。聖霊に満たされた時にペテロは力が与えられイエス様を大胆に証する証人に造りかえられたのです。そしてその日、ペテロのメッセージを聞いてイエス様を信じた人が3000人もいました。こうして最初の教会が誕生したのです。教会は聖霊によって生み出されました。そして最初の教会はペンテコステの教会だったのです。

- ⑤「五旬節」…別名ペンテコステ。ユダヤの祭りのひとつ。過ぎ越しの祭りから50日目であることから五旬節と呼ばれた。もともと大麦の収穫を祝う収穫祭であった。この日に聖霊が下ることによって世界規模による魂の収穫が始まったことを象徴的に示している。
- ⑤「他国のことば」…異言の一つ。話しているものはわからないが、聞いているものの中には理解できる者がいる言葉。異言には聞くものが理解し解き明かせるものとそうでないものがある。また、異言には聖霊に満たされたしるしとしての異言と、聖霊の賜物による用法の異なる二つの異言があるが、ここでは前者である。

□結論 聖霊は人の考えや限界を超える力を持っておられるお方です

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は求める者を聖霊で満たしてくださると約束して下さっています。聖霊に満たされる時、私たちの内から湧き上がる神様に従いたい、神様を証したいという情熱、熱心さが与えられるのです。弟子たちは神様から与えられるそのエネルギーによって大胆にキリストに従い、キリストを証する人へと変えられたのです。祈りと賛美とみことばの約束を握って神様に近づきましょう。心を神様の前に開きましょう。あなたの心を聖霊に委ねましょう。大切なことは神様に向かってあなたの心が解放され自由にされていくことです。罪が示されるなら悔い改めましょう。また誰かにお祈りしてもらうことも良いことです。しかし、何よりもあなた自身の唇を開いて神様に求めましょう。唇を神様に委ねる時、神様があなたの舌をコントロールして下さり、神様が与えて下さる言葉(異言)で自由に祈らせてくださるでしょう。

聖霊のバプテスマを求めて心を合わせて祈る時間を持ちましょう。(霊が解放される雰囲気を作るように導きましょう。神様をほめたたえ求める賛美を何曲かしてもよいでしょう。できるだけ声に出して自由に祈るように導きましょう。)